

みなさんこんにちは、県立生涯学習推進センター メールマガ担当です。

さて、県内の小中学校では一人一台端末が整備され、すでに端末を活用した授業等が行われているようです。全国ニュースや新聞記事には、他の都道府県の例ではあるものの、すでに一人一台端末を悪用し、チャット機能で友人の悪口を書き込む、制限を不正に解除し有害な動画を視聴するといったことも起きています。

メルマガをお読みになっている皆様は、このような例に対して、どうすれば良いとお考えでしょうか。「いっそう厳しいルールを設ける必要がある」「そもそもこういった物を与えないほうがいいのではないか」というような厳しいご意見もあろうかと思えます。

愛知県医療療育総合センター中央病院の児童精神科医である吉川徹先生は自著『ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち～子どもが社会から孤立しないために～』の中で、大人がサポートしてほしいゲーム・ネットとの付き合い方について「提案」という形でこのように書かれています。(ごく一部を紹介)

- ①ゲームは不登校の原因の一つとして登場するが、まずは学校の中でのきっかけを徹底的に確認しておくことが解決につながりやすい。
- ②学校にはいかなくとも、ネットやゲームで友達とつながっていることも多い。この状態でゲームやネットを取り上げると、家族関係の悪化につながる。

そもそも子どもがネットやゲームの時間をコントロールできないのは普通のこと、大人がしっかりかかわって「適応可能なルール」を作ることの大切さも吉川先生は自著の中で述べていました。「ルールは作ったけれど守られないのが当たり前」という状態は、ルールがないことより悪いことなのだそうです。

これからの時代は、これまで以上にテクノロジーの進化によって、子ども達を取り巻くゲームやネット、ICT 機器との付き合いは避けて通れません。私たち大人が、付き合い方やルールづくりを、手伝えるうちに支えていきましょう。もし、このようなことでお悩みの方がいらっしゃれば、ぜひ当センターまでご相談下さい。

子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★